

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月12日
【四半期会計期間】	第154期第3四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	佐渡汽船株式会社
【英訳名】	Sado Steam Ship Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小川 健
【本店の所在の場所】	新潟県佐渡市両津湊353番地
【電話番号】	(0259)27 5174
【事務連絡者氏名】	本社統括課長 野田 悟
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区万代島9番1号
【電話番号】	(025)245 2366
【事務連絡者氏名】	総務課長 服部 賢一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第153期 第3四半期連結 累計期間	第154期 第3四半期連結 累計期間	第153期
会計期間	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 9月30日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年 9月30日	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日
売上高 (千円)	9,195,932	8,949,433	11,997,894
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	22,965	177,294	49,247
四半期純利益又は四半期 (当 期) 純損失 ( ) (千円)	217,672	846,484	287,847
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	221,754	868,009	275,637
純資産額 (千円)	2,661,991	3,467,959	2,599,442
総資産額 (千円)	16,289,899	17,316,334	16,341,672
1株当たり四半期純利益金 額又は1株当たり四半期 (当 期) 純損失金額 ( ) (円)	15.39	59.82	20.35
潜在株式調整後1株当たり四 半期 (当期) 純利益金額 (円)	-	58.78	-
自己資本比率 (%)	13.7	17.4	13.2

回次	第153期 第3四半期連結 会計期間	第154期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成26年 7月 1日 至 平成26年 9月30日	自 平成27年 7月 1日 至 平成27年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.80	49.39

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額については、第153期第3四半期連結累計期間及び第153期は潜在株式は存在するものの1株当たり四半期 (当期) 純損失金額のため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ (当社及び当社の関係会社) が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により、一部には企業収益や雇用の改善、設備投資の持ち直し等が継続するなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、個人消費の弱さや海外経済の減速が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

旅客船業界においては、これまで高止まりを続けていた燃料油価格が値下がりに転じてきてはいるものの、原油価格は中東情勢などの地政学リスクの影響を受けやすいこと、人手不足による労働コストの上昇、また、離島航路においては少子高齢化による人口減少・過疎化、産業・経済の低迷なども見受けられ、依然として不安要素は払拭できない状況が続きました。

当社グループにおきましては、4月21日に新造高速カーフェリー「あかね」が直江津・小木間に就航したことによる同航路の旅客輸送人員の増加、9月にシルバーウィークがあったこと及び各種割引施策による乗用車航送の増加など、一定のプラス要因も見られました。

これに対し、直江津・小木間に新造船が就航したことの反動で新潟・両津間及び寺泊・赤泊間の輸送人員は減少しており、また、佐渡島内の人口減少に伴う生活物資輸送や公共工事の減少等で貨物輸送及びトラック航送は減少するなど、マイナス要因も発生しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,949,433千円（前年同期比2.7%減）、営業利益は267,708千円（前年同期比174.8%増）、経常利益は177,294千円（前年同期比672.0%増）、四半期純利益は846,484千円（前年同期は217,672千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

#### 海運

当第3四半期連結累計期間の旅客輸送人員は1,230,372人（前年同期比2.4%減）、自動車航送台数は乗用車換算で163,858台（前年同期比4.7%減）、貨物輸送トン数は117,704トン（前年同期比10.0%減）となりました。

旅客輸送人員は、直江津航路に4月に就航した新造高速カーフェリー「あかね」効果や9月のシルバーウィークによって成果は見られましたが、その反動で新潟、寺泊の両航路の落ち込みが大きく、累計では前年同期の売上高を下回りました。

航送・貨物輸送実績は、各種割引施策の実施による乗用車航送には一定の効果が見られましたが、佐渡島内の人口減少及び公共工事減少に伴う生活物資・資材等の減少により貨物輸送及びトラック航送が減少したため、前年同期の売上高を下回りました。

費用面におきましては、船舶燃料費が前年同期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6,000,575千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は192,822千円（前年同期比528.0%増）となりました。

#### 一般貨物自動車運送

前年同期と比較して、公共工事の減少等により売上高は減少しましたが、費用面で燃料費の減少等があり、セグメント損失（営業損失）は減少しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,178,341千円（前年同期比9.1%減）、セグメント損失（営業損失）は19,898千円（前年同期は23,656千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

#### 売店・飲食

当第3四半期連結累計期間の売上高は962,929千円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は13,322千円（前年同期比29.0%減）となりました。

#### 観光

当第3四半期連結累計期間の売上高は658,763千円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益（営業利益）は29,992千円（前年同期比9.5%減）となりました。

その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は148,825千円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益（営業利益）は22,961千円（前年同期比261.4%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

(4) 主要な設備の状況

前連結会計年度末において計画中（建造中）であった主要な設備の新設について当第3四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

会社名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	就航年月	完成後の増加能力
当社	新潟県佐渡市	海運	高速カーフェリー	平成27年4月	代替建造のため影響なし

また、当第3四半期連結累計期間中に売却が完了したものは、次のとおりであります。

会社名	所在地	セグメントの名称	設備の内容	就航年月	帳簿価額（千円）
当社	新潟県佐渡市	海運	カーフェリー	平成27年5月	277,293

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	14,275,450	14,275,450	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	14,275,450	14,275,450	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	14,275,450	-	843,135	-	680,992

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 74,700	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 77,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,115,900	141,159	-
単元未満株式	普通株式 7,450	-	-
発行済株式総数	14,275,450	-	-
総株主の議決権	-	141,159	-

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 佐渡汽船株式会社	新潟県佐渡市両津湊353番地	74,700	-	74,700	0.52
(相互保有株式) 佐渡汽船運輸株式会社	新潟県佐渡市吾潟183番地1	61,400	-	61,400	0.43
佐渡汽船観光株式会社	新潟市中央区万代島9番1号	3,000	-	3,000	0.02
株式会社佐渡西三川 ゴールドパーク	新潟県佐渡市西三川835番地1	13,000	-	13,000	0.09
計	-	152,100	-	152,100	1.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「海運企業財務諸表準則」（昭和29年運輸省告示第431号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,195,932	18,949,433
売上原価	8,395,524	7,914,162
売上総利益	800,408	1,035,271
販売費及び一般管理費	703,004	767,563
営業利益	97,404	267,708
営業外収益		
固定資産賃貸料	50,515	57,788
受取利息	375	415
受取配当金	4,438	3,996
その他	53,265	42,664
営業外収益合計	108,593	104,863
営業外費用		
支払利息	96,340	131,471
固定資産賃貸費用	19,876	31,622
シンジケートローン手数料	45,053	1,507
その他	21,763	30,677
営業外費用合計	183,032	195,277
経常利益	22,965	177,294
特別利益		
固定資産売却益	4,833	913,759
特別修繕引当金戻入額	-	36,075
特別利益合計	4,833	949,834
特別損失		
固定資産売却損	2,315	661
固定資産除却損	4,868	25,824
減損損失	110,666	-
和解金	-	30,100
特別損失合計	117,849	56,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	90,051	1,070,543
法人税、住民税及び事業税	78,242	130,038
法人税等調整額	50,145	83,621
法人税等合計	128,387	213,659
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	218,438	856,884
少数株主利益又は少数株主損失( )	766	10,400
四半期純利益又は四半期純損失( )	217,672	846,484

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	218,438	856,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,316	2,302
退職給付に係る調整額	-	8,823
その他の包括利益合計	3,316	11,125
四半期包括利益	221,754	868,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,212	855,337
少数株主に係る四半期包括利益	1,542	12,672

## (2)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,978,363	2,058,150
受取手形及び売掛金	832,242	906,408
たな卸資産	689,452	749,389
繰延税金資産	117,166	22,271
その他	171,740	615,227
貸倒引当金	8,733	12,323
<b>流動資産合計</b>	<b>3,780,230</b>	<b>4,339,122</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
船舶（純額）	1,211,322	6,046,877
建物（純額）	3,191,811	3,207,963
土地	1,904,770	1,904,770
建設仮勘定	4,695,193	30,766
その他（純額）	740,287	932,277
<b>有形固定資産合計</b>	<b>11,743,384</b>	<b>12,122,653</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	4,756	4,381
その他	244,955	248,114
<b>無形固定資産合計</b>	<b>249,711</b>	<b>252,495</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	166,832	170,398
長期前払費用	263,101	286,233
繰延税金資産	37,709	37,848
その他	65,658	64,798
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>533,300</b>	<b>559,277</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>12,526,395</b>	<b>12,934,425</b>
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	35,047	42,787
<b>繰延資産合計</b>	<b>35,047</b>	<b>42,787</b>
<b>資産合計</b>	<b>16,341,672</b>	<b>17,316,334</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	412,936	385,329
短期借入金	393,804	662,000
1年内償還予定の社債	259,560	363,240
1年内返済予定の長期借入金	3 1,582,772	3 1,723,293
未払法人税等	41,631	119,324
賞与引当金	30,618	146,817
前受補助金	477,848	-
その他	836,353	592,488
流動負債合計	4,035,522	3,992,491
固定負債		
社債	1,562,660	1,867,580
長期借入金	3 7,062,608	3 6,778,800
役員退職慰労引当金	55,297	58,393
退職給付に係る負債	728,020	759,232
特別修繕引当金	161,720	124,833
資産除去債務	27,900	28,294
その他	108,503	238,752
固定負債合計	9,706,708	9,855,884
負債合計	13,742,230	13,848,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	681,020	681,020
利益剰余金	691,051	1,534,202
自己株式	68,002	68,002
株主資本合計	2,147,204	2,990,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,784	21,054
退職給付に係る調整累計額	8,776	2,193
その他の包括利益累計額合計	10,008	18,861
新株予約権	55,234	62,452
少数株主持分	386,996	396,291
純資産合計	2,599,442	3,467,959
負債純資産合計	16,341,672	17,316,334

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

当社グループの売上高は、事業の性質上、第3四半期に集中する傾向があり、季節の変動が顕著であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 保証債務

他の協同組合の金融機関からの借入に対して債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
新潟流通センター運送事業協同組合	92,400千円	94,250千円

- 2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	10,586千円	-千円

- 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント契約

当社グループでは、運転資金及び船舶建造資金の効率的な調達を行うため、取引銀行6行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
当座貸越極度額及び貸出 コミットメントの総額	5,034,000千円	5,034,000千円
借入実行残高	4,197,000	2,113,000
	837,000	2,921,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
減価償却費	569,872千円	655,389千円
のれんの償却額	1,410	375
負ののれんの償却額	1,858	-

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額  
該当事項はありません。
2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。  
該当事項はありません。
3. 株主資本の著しい変動に関する事項  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額  
該当事項はありません。
2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの。  
該当事項はありません。
3. 株主資本の著しい変動に関する事項  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,185,740	1,296,138	993,209	560,429	9,035,516	160,416	9,195,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	247,116	35,922	309,377	592,429	156,546	748,975
計	6,185,754	1,543,254	1,029,131	869,806	9,627,945	316,962	9,944,907
セグメント利益又は損失 ( )	30,704	23,656	18,753	33,155	58,956	6,353	65,309

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	58,956
「その他」の区分の利益	6,353
セグメント間取引消去	32,095
四半期連結損益計算書の営業利益	97,404

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「観光」セグメントにおいて、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては110,666千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,000,575	1,178,341	962,929	658,763	8,800,608	148,825	8,949,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,415	241,329	21,974	304,474	580,192	168,329	748,521
計	6,012,990	1,419,670	984,903	963,237	9,380,800	317,154	9,697,954
セグメント利益又は損失 ( )	192,822	19,898	13,322	29,992	216,238	22,961	239,199

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,238
「その他」の区分の利益	22,961
セグメント間取引消去	28,509
四半期連結損益計算書の営業利益	267,708

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	15円39銭	59円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	217,672	846,484
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	217,672	846,484
普通株式の期中平均株式数(株)	14,142,463	14,150,913
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	58.78
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	249,713
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月12日

佐渡汽船株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 真一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 五十嵐 朗 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 井口 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている佐渡汽船株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結貸借対照表及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、佐渡汽船株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。